

平成21年9月2日

各 位

会 社 名 住友軽金属工業株式会社
代表者名 社 長 山内 重徳
(コード 5738 東証・大証第1部)
問合せ先 経理部長 川島 輝夫
(TEL 03-3436-9771)

住友軽金属グループの事業再編について

当社は、厳しい経営環境下における重要課題と認識し検討してまいりました「グループの事業再編」の概要を本日開催の取締役会にて決定致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 事業再編の目的・背景

住友軽金属グループは、現中期経営計画(2010年計画)の基本方針の1つに「グループ経営資源の有効活用と再構築」を掲げ、日本トレクス株式会社の株式の譲渡、新日東金属株式会社の事業譲渡など経営資源の集中化を進めてまいりました。またアルミ加工品事業も株式会社日本アルミを中心として再構築に着手致しました(本年5月14日付で公表)。

一方昨年来の経済危機が続く環境下、激変する経済環境及び産業構造の変化に対応し企業基盤を強化するため新中期計画を策定中ではありますが、とりわけ押出事業は長引く建材需要の低迷に加え二輪四輪向け素材・部材の大幅な減少の中、業界として供給過剰体質にあり、「アルミ押出素材・部材加工事業の再構築」は喫緊の経営課題であり、先に公表しました「アルミ加工品事業の再構築」と併せて新中期計画に先駆けて実施するものであります。

2. 事業再編の概要

(1)アルミ押出素材・部材加工事業の再編

①押出素材生産拠点の集約

当社の押出素材の生産拠点は名古屋製造所と千葉製作所があり、更にグループとしては群馬アルミニウム(伊勢崎市)と日本アルミ安城製造所があります。

千葉製作所は昭和44年設立以来、当社アルミ押出品の重要生産拠点として操業してまいりましたが、平成22年3月に操業を停止し、当社名古屋製造所及びグループの群馬アルミニウム株式会社及び株式会社日本アルミ安城製造所へ、お客様とご相談のうえ順次生産移管する予定であります。また従業員は操業度が回復している他の部門や関係会社の欠員補充として原則グループ内で配置転換する予定です。

【千葉製作所の概要】

- ・所在地 千葉県柏市新十余二13番地
- ・生産品目 二輪車・四輪車用、工業用、建築用等のアルミ型材・管
- ・生産能力 約1800トン/月
- ・従業員数 約260名

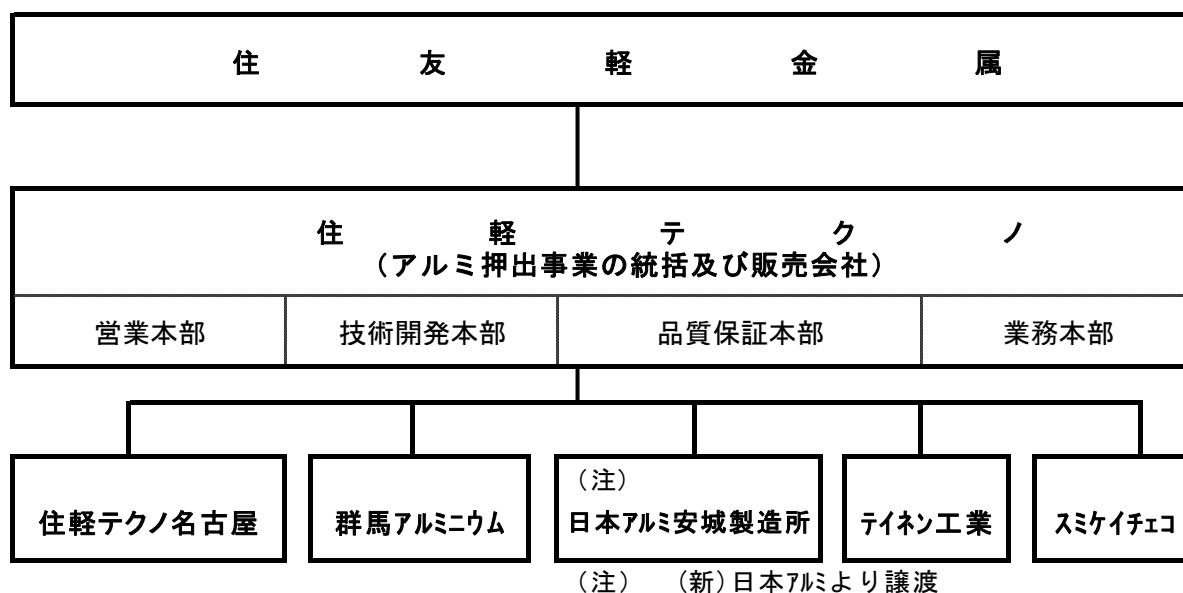
②アルミ押出素材事業の分社化及び事業の統合

当社はアルミ押出営業部門と名古屋製造所押出製造部門をそれぞれ分社化し、事業統括兼販売会社「住軽テクノ」及び製造会社「住軽テクノ名古屋」を設立します。またその統括会社「住軽テクノ」の傘下に生産拠点として群馬アルミニウム、日本アルミ安城製造所((新)日本アルミから譲渡)、及び部材加工のテイネン工業、自動車熱交用多穴管事業のスマイケイチェコ(SUMIKEI CZECH S.R.O.)を加えグループのアルミ押出素材・部材加工事業を統合致します。なお、現在の販売会社である「新泉アルミニウム」は「住軽テクノ」に統合致します。

アルミ押出素材・部材加工事業統括会社「住軽テクノ」には営業本部・技術開発本部・品質保証本部・業務本部を設置し、グループのアルミ押出素材・部材加工事業の営業体制強化や製品開発機能・品質保証体制強化を図ってまいります。

なお、新会社の詳細については今後内容が確定次第お知らせ致します。

【アルミ押出事業の再編後 概要図(平成22年4月予定)】



【アルミ押出事業再編スケジュール】

- 平成21年10月 ・千葉製作所からの生産移管開始
- 平成22年3月 ・千葉製作所の操業停止
- 平成22年4月1日 ・新体制での営業開始

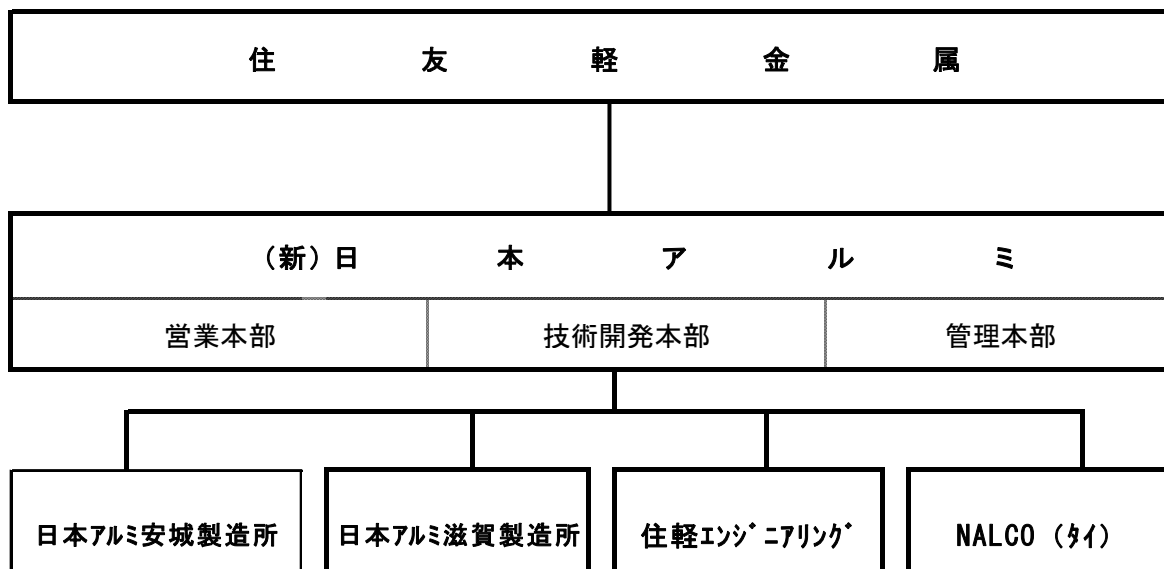
【住軽テクノ代表者の氏名】

荘司 啓三

(2)アルミ加工品事業の再編(平成21年5月14日付けで公表)

既に平成21年5月14日付けで公表致しました「アルミ加工品事業の再編」の概要は以下の通りです。

【アルミ加工品事業の再編後 概要図(平成21年10月1日予定)】



【アルミ加工品事業再編スケジュール】

- 平成21年7月31日 ・当社は株式交換により株式会社日本アルミを100%子会社化
- 平成21年10月1日 ・株式会社日本アルミを会社分割 ((現)日本アルミ解散)
 - ・当社所有の住軽エンジニアリング株式を(新)日本アルミへ譲渡
 - ・新体制での営業開始
- 平成22年3月31日 ・(現)日本アルミ清算終了
- 平成22年4月1日 ・日本アルミ安城製造所を住軽テクノへ譲渡

【(新)日本アルミの概要】

- 会社の名称 :株式会社日本アルミ
- 会社の住所 :大阪市淀川区三国本町3-9-39
- 代表者の氏名 :可知 隆志
- 資本金 :450百万円(住友軽金属100%出資)
- 事業の内容 :アルミニウム及びその他諸金属の材料及び製品の製造・販売
- 生産拠点

(1) 日本アルミ安城製造所(愛知県安城市)

- ・主な事業内容:建築金物、トラック・自動車部材の輸送関連製品、店装品、押出型材、加工品の製造・販売

(2) 日本アルミ滋賀製造所(滋賀県湖南市)

- ・主な事業内容:工業用品(輸送機器、化学工業用機器、プラント設備、熱交換器、医療用検査装置、土木関連製品等)及び環境施設(金属製プール、工芸品等)の製造・販売

(3) 住軽エンジニアリング(福島県郡山市)

- ・主な事業内容:アルミハニカム及びアルミ溶接物等の製造・販売

(4) NALCO(タイ)

- ・主な事業内容:熱交換器等の製造・販売

(3) 事業再編による効果

アルミ押出素材・部材加工事業及びアルミ加工品事業の再編により、年間概ね45億円の損益改善効果を見込んでおります。

3. 業績への影響

今回の事業再編により、連結・個別決算ともアルミ押出素材・部材加工事業関係では、設備の減損等により44億円、アルミ加工品事業関係では、資産の処分等により16億円の特別損失を計上する見込みです。

なお、(現)日本アルミ解散に伴い、連結決算では6億円、個別決算では55億円の特別損失が別途発生致しますが、既に業績予想に織り込んでおります。

上記特別損失を含めた第2四半期累計期間及び通期業績予想の見直しにつきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上